

葦穂小学校・吉生小学校・柿岡小学校 統合再編に係る地区住民説明会 要旨

日時 令和3年10月4日（月） 午後7時から午後8時15分

場所 吉生小学校 体育館

執行部 児島教育長，豊崎部長，吉澤次長，朝賀参事，小沼教育総務課長，
須加野指導室長，小河原副参事，雨貝課長補佐，佐藤主幹

出席者 12名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明
資料
 - ・石岡市立小中学校統合再編計画
 - ・小中学校年度別将来推計（別紙）
5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

次第に沿って、4. 統合再編計画に係る説明まで行う

(参加者)

コロナ禍も含め、少人数から大きな集団に入っていく不安がある。そういった部分のケアはどのように考えているのか。

(事務局)

感染症対策について各学校でしっかりと取り組んでおります。また、統合予定校の事前交流行事などでコミュニケーションを図り、新しい環境にも早く馴染めるよう配慮していきたいと思っております。

(事務局)

少ない人数から大人数になる不安はあると思います。しかし、人数が増えることによって様々な考え方に触れることができ、子どもたちが成長していくこともあると思います。

(参加者)

将来的に八郷地区で小学校と中学校が各校ずつになるという計画だが、結果的に場所が違っただけで小中一貫校と同じではないか。

(事務局)

そういった意見も出てくると思いますが、今現在は小中一貫校では考えておりません。

(参加者)

子どもの数がどんどん減っていく。そして学校も統廃合を進めて規模を縮小していくということで、石岡市は終活をしているように感じた。豊かな自然や少人数でものびのびと学べる環境に魅力を感じて移住してきた自分にとってはそこが寂しく感じる。

(事務局)

教育環境を充実させるといった視点で統合を進めていきたいと考えており、今後は言語活動の充実や、グループ学習、ICTの積極的な活用をはじめとする指導方法・指導体制の工夫改善を通じた協働型・双方向型の授業」が必要だといわれています。

(事務局)

まずは複式学級の解消を一番に考えております。議論や課題を子どもたちが話し合いな

がら解決していくためにはある程度の人数が必要になってくると感じております。少ない人数の中での良さもありますが、様々な考えに触れることで新たな気付きも生まれる。そういった環境を子どもたちに与えていきたいと考えております。

(参加者)

基本的には、もう後戻りはせずこのまま計画を進めていくということなのか。

(事務局)

今現在はまだ計画の段階ということになります。最終的な統合の時期や場所などの決定については、統合検討委員会を立ち上げその中で行っていきたいと考えます。

(参加者)

令和6年の4月に柿岡小に統合の計画とあるが、受け入れに際しての準備はどのように考えているのか。統合検討委員会で統合の時期についても決定とあるが、その間も少ない人数の学校はその状態が続いていく。

(事務局)

教育環境の充実を図ることから、施設の修繕なども必要になると考えます。決定に至るまでも、説明会や統合検討委員会の立ち上げなど、合意形成に相応の時間を要すると考えます。

(参加者)

少子化対策などについての考えはあるのか。

(事務局)

市全体での課題として、補助の面などをはじめ取り組んでまいりたいと思っております。

(参加者)

柿岡小の施設の老朽化が進んでいると思われる。耐久性などは問題ないか。

(事務局)

普通教室のエアコン設置や、児童用トイレの改修がこれまでに行われております。学校施設の耐震性の指標とされるIS値においても、0.7以上が望ましいとされるなか、0.8～0.84となっております。しかしながら、安心安全な学習環境を整えるうえで、学校や保護者の方のご意見なども伺いながら修繕についても協議していきたいと考えております。

(参加者)

説明会に参加出来ない人も中にはいるので、アンケート等を行えば幅広く意見を伺えるのではないかと。

(事務局)

ご要望があれば、関係各所を含めてどのようなアンケートが良いか協議・検討していきたいと思えます。お時間をいただいておりますかと思われま。

(参加者)

統合までのスケジュールはどのようなになるのか。

(事務局)

今年度までには統合検討委員会を立ち上げ、具体的な課題を協議していく専門部会の設置も行いたい。学期に1回程度のペースで統合検討委員会を開催し、決定事項などを保護者・地域の方へ周知していきたいと思っております。

(参加者)

統合に係る修繕などの予算はついているのか？

(事務局)

令和4年度で予算の要求等を行い、5年度で実施していきたいと思っております。

(参加者)

教育長はこの計画通りに進めていく考えでいるのか伺いたい。

(教育長)

令和6年4月の統合を目指し、複式学級の解消を図っていきたい。ただ、合意形成が必要になってまいりますので、十分な協議や意見交換を行ったうえで進めてまいりたいと思っております。

(参加者)

今現在も複式学級を抱えている学校がある。速やかに対応を進めていただきたい。

(参加者)

柿岡小のプールは使えないのか。

(事務局)

柿岡小のプールの改修予定はございません。プールの授業時間については、年間10時間辺りが目安になっております。そういったところも踏まえて、施設を利用した方が良いか、学校のプールを改修して使用して行った方が良いかなども検討していく形になります。

(参加者)

柿岡小の児童でバス通学はいるのか。

(事務局)

片野地区から路線バスを使って通っているお子さまもいらっしゃいます。保護者の負担金が3,000円ということで補助をしております。

(参加者)

放課後児童クラブについてはどのように考えているのか。

(事務局)

統合検討委員会を立ち上げ、専門部会などで保護者の方の要望などを聞きながら、決定してまいります。

(参加者)

統合に伴う通学手段の変化など、地域の方と接する時間が少なくなる。この地域で生まれ、地域に育ててもらったという気持ちを子どもたちに持ってもらうことが、ふるさとに帰ってきたいという思いにもつながるのではないかと思っている。

(教育部長)

前回の答申においては、小中一貫校という考え方を示していなかったこともあり、市全体で取り組めてはいなかった状況についてご理解いただきたいと思えます。

市が終活をしているように感じるといったご意見については、現状ではたしかに人口はどんどん減っていきますが、何もしない訳ではなく、各種補助などを通じて市全体で若い人に石岡市に住んでもらおうと取り組んでおります。

(教育長)

本日は基本計画等の説明をさせていただきました。お越しいただいた皆さまから貴重なご意見をいただいたこと、心より感謝申し上げます。

吉生小学校は大変長い歴史と伝統ある学校です。小規模校ではありますが、学校・地域・保護者が一体となって教育活動を進めております。また、葦穂小・吉生小・柿岡小の

3校は数年前から小規模校の課題解決のために様々な連携を行ってきました。保護者や地域の方々にとって、学校とは長い間コミュニティの中心であるということも重々認識しております。

新しい学校づくりの議論には一定の期間を要すると思います。これまで築いてきた吉生小学校の良さや家庭的な温かみなど今後どのように活かしていくのか。継続的な議論を積み重ねて行きながら、学校・保護者・地域・行政とで合意形成を図り、関係をより強固にしていくことが今後非常に重要になってくると考えられます。今後は、魅力ある学校づくりや学校再編によって生じる課題等への対応についても話し合っていくことも大切になります。